

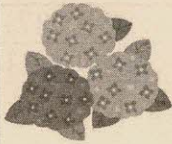
育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 TEL 227-1972

【6月の重点指導事項及び着眼点】

- 1 安心して登校できる環境づくり(いじめ防止等)
 - ・ 学校・家庭・地域・関係機関等の連携による啓発活動の推進と不安を抱える少年への適切で積極的な声かけ・相談活動
- 2 喫煙・薬物乱用防止
 - ・ 未成年者の喫煙・薬物使用防止に関する啓発活動の推進

「心の居場所」



内閣府は、平成22年より施行された「子ども若者育成支援推進法」に基づき、「子供・若者育成支援推進大綱」を定め、全ての子ども・若者が自らの居場所を得て成長・活躍できる社会を目指し、令和3年4月に第3次大綱を示しています。

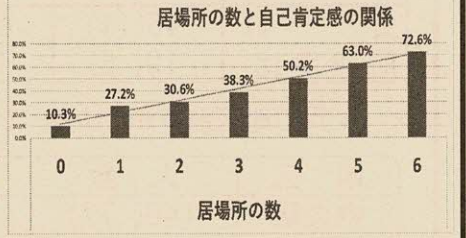
本大綱は、「居場所」を大きなキーワードとしており、定期的に子どもの居場所に関する認識を調査しています。この「居場所」というのは、物理的な居場所でなく「心の居場所」であり、自分にとって安心できる場所、居心地のよい場所を指します。

また、本調査は、コロナ前の2016年と2019年の結果を比較して示し、子ども・若者の現状について深く考えさせられる内容となっています。

調査では、子どもたちの居場所として考えられる「自分の部屋・家庭・インターネット空間・地域・学校・職場」のいずれの場所も、居場所と感じる割合が減少(自分の部屋→3.7%、家庭→4.3%、インターネット空間→5.5%、地域→5.2%、学校→1.1%、職場→4.1%)しており、どこにも居場所がないと感じる子ども・若者の割合が増加しているということでした。

次に、居場所の数が少ない子ども・若者ほど、「自己肯定感」「今の充実感」「将来への希望」「チャレンジ精神」「社会貢

献意欲」などの自己認識は、「自己肯定感」のグラフが示すように低くなっていることもわかりました。



さらには、子ども・若者の居場所と支援希望者の結果に驚きました。調査結果によりますと、居場所が少ないと回答している子どもや若者ほど、「誰にも相談したり、支援を受けたりしたいと思わない」「知っている育成支援機関はない」「支援機関を利用したいと思わない」と回答しており、支援者側の一歩踏み込んだアプローチが必要であると考えさせられました。

今月は、内閣府の「子ども・若者の『心の居場所』」の調査結果を紹介しました。年々、物理的な居場所や子ども・若者への支援体制は充実してきていると考えておりましたが、この結果を見ますと、まだまだ十分でなく、課題が山積していると考えさせられました。子ども・若者への寄り添いや家庭への支援の在り方を見直し、困難を有する子ども・若者が意欲をもって生きていけるよう、更に取り組んでいきたいものです。

★ 「全ての子ども・若者が自ら居場所を得て成長・活躍できる社会を目指して」内閣府の資料引用

城山の散策



最近、城山に自然遊歩道があることを知りました。調べてみますと、自然を觀賞しながら散策できる約2kmのコースだと分かりました。

実際に歩いてみますと、樹齢約400年にもなるクスの大木やシダなどが多く茂っており、緑豊かで心や体の緊張がほぐれてきました。

展望台までの道中、10数人の方々とすれ違いました。その内の何人かは、「おはようございます」と声をかけてくださり、優しい気持ちになり、挨拶の大切さについて実感しました。

今度は、勇気を出して自分から、「おはようございます」と声をかけてみますと、なぜか更に心地よい気分になりました。コロナ禍の中、人間関係の疎遠化が言われますが、このような時だからこそ、挨拶について考えてみたいものです。そんなことを考える散策を楽しんでいます。

薬物から子どもを守る

流されない。
きっぱりと、
断る勇気を

1 昨年の状況・要因は？

(1) 警察庁によりますと、2021

年に大麻取締法違反で摘発した14~19歳の少年は、前年比12.1%増の994人で、過去最多ということでした。また、鹿児島県警によりますと、2021年の摘発人数は39人(前年比6人増)。10代9人、20代が19人で、全体の7割を占め、若年層の摘発は、過去10年で最多であったということです。

(2) 要因としては、インターネットで簡単に入手でき、若者に危険性が浸透していないことが背景にあり、「大麻は、身体への悪影響はない」「依存症がない」などの誤った情報の氾濫も考えられます。

★ 「1」は、南日本新聞記事(R4.3月11日)引用

2 薬物乱用者の危険(有害)性の認識状況は？

薬物乱用者の大麻に対する危険(有害)性の認識は、「全くない(36.6%)」・「あまりない(41.6%)」(合わせて78.2%)となり、危険(有害)性の認識があまりない状況。

3 大麻の乱用による影響(大麻の有害性)は？

- 知覚の変化(時間や空間の感覚がゆがむ。)
- 運動失調(瞬時の反応が遅れる。)
- 統合失調症やうつ病などを発症しやすくなる。
- 短期・長期の記憶や情報処理速度が下がる。
- 薬物依存(大麻への欲求が抑えられなくなる。)

★ 「2」と「3」は警察庁薬物銃器対策課の資料引用

【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 4月の声かけ人数 321(137) 前年同期 337(158)

◇ 4月の学職別声かけ人数 ()は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	46(11)	49(12)	216(107)	0(0)	1(0)	0(0)	312(130)
その他	0(0)	0(0)	9(7)	0(0)	0(0)	0(0)	9(7)
合計	46(11)	49(12)	225(114)	0(0)	1(0)	0(0)	321(137)
前年度比	19(5)	1(▲6)	▲22(▲13)	▲12(▲5)	▲1(▲2)	▲1(0)	▲16(▲21)

◇ 4月の地区別声かけ人数 ()は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	146(77)	45.5%
天文館	70(36)	21.8%
谷山	90(20)	28.0%
上町	0(0)	0.0%
鴨池	15(4)	4.7%
伊敷	0(0)	0.0%
その他	0(0)	0.0%
合計	321(137)	100.0%

○ ゲームセンターで、〇〇中のネーム入りTシャツ男子と私服女兒がクレーンゲームをしていた。「〇〇中学校と〇〇小学校の兄妹です。現在、三者面談で、早く終わったので母と来ました。母は買い物中です」ということだったので、お金は大事に遣うようにアドバイスした。

○ カーゲームをしている〇〇高校男子5人に声を掛けた。入学式で学校が休みだったらしい。ピアスやネックレスをしている子もいた。声を掛けなければ大学生か社会人に見えた。お金を大事に遣うこと、コロナに気を付けること、早めに帰宅することなどを話した。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和4年1月～4月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	19(13)	18(2)	1(0)	0(0)	4(1)	13(4)	0(0)	0(0)	3(2)	58(22)	▲2(7)
西署	5(3)	23(2)	0(0)	0(0)	0(0)	3(1)	1(1)	0(0)	1(1)	33(8)	9(6)
南署	6(0)	10(0)	2(2)	0(0)	0(0)	12(4)	0(0)	0(0)	0(0)	30(6)	▲5(4)
人数合計	30(16)	51(4)	3(2)	0(0)	4(1)	28(9)	1(1)	0(0)	4(3)	121(36)	2(17)
割合	24.8%	42.1%	2.5%	0.0%	3.3%	23.2%	0.8%	0.0%	3.3%	100.0%	
当月発生計	9(8)	20(3)	0(0)	0(0)	0(0)	7(2)	0(0)	0(0)	3(2)	39(15)	※当月発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	0(0)	2(1)	3(0)	0(0)	2(0)	0(0)	7(1)	2(1)	2(0)
西署	0(0)	2(0)	7(1)	0(0)	2(0)	0(0)	11(1)	2(▲1)	2(0)
南署	7(1)	3(0)	2(1)	1(0)	2(1)	2(0)	17(3)	0(1)	3(0)
人数合計	7(1)	7(1)	12(2)	1(0)	6(1)	2(0)	35(5)	4(1)	7(0)
割合	20.0%	20.0%	34.3%	2.9%	17.1%	5.7%	100.0%		
当月発生計	1(1)	6(1)	5(2)	0(0)	4(0)	1(0)	17(4)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- 5月に、市内中学校(1校)で非行防止教室を実施する予定である。6月も市内中学校で非行防止教室を予定している。
- 居場所づくり活動は、5月下旬に海釣り公園で釣り体験を予定している。6月も実施予定であるが、内容は検討中である。
- サイバーパトロールは継続中である。相変わらず不適切な書き込みが見られ、年々注意喚起メッセージを送信することが多くなっている。
- 本年度より配置された補導職員が、毎日、午前と午後に駅付近を巡回しているが、今のところ気になるような事案はない。